



漁港による漁業種類の特化

・漁船大型化 ⇒ 水揚量増加 ⇒ 大量に買い支え、処理できる専門業者が必要 ⇒ 大量処理可能な魚種が漁港ごとに特化

◇1980年頃の主な漁業

出漁基地	水揚げ
・八戸 … イカ釣り、旋網、底曳(北転船) …	イカ、サバ、タラ
・久慈 … 旋網、小型底曳 …	イワシ
・宮古 … 中型サケマス流し網 …	サケマス
・釜石 … 小・中型底曳 …	タラ
・大船渡 … 旋網 …	イワシ
・気仙沼 … マグロ延縄、サンマ棒受網 …	マグロ、サメ、カツオ、サンマ
・女川 … カツオ釣り、サンマ棒受網 …	サンマ、カツオ、イワシ
・石巻 … 底曳(北転船)、旋網 …	サバ、イワシ、タラ
・塩釜 … 遠洋・近海マグロはえ縄、北転船 …	マグロ、タラ

統計データ(漁業養殖業生産統計年報)未確認のため正確ではない。自ら確かめてみよ。

三陸漁業の問題点①

水揚げ量・金額の上位15漁港(2009,2010)

・大衆魚が多く、高級魚が少ない。
・西日本の主要港は、漁獲は少なくても、ハマチ、タイ、クエなどの高級魚が多い。
・サバ、アジ類も高品質・高価格
・三陸のマグロ漁船の水揚げの多くは、焼津、清水、三崎へ

順位	水揚げ量(トン)		水揚げ金額(億円)	
	2009	2010	2009	2010
1	銚子 223,739	1 銚子 214,240	1 福岡 541	1 福岡 514
2	焼津 176,166	2 焼津 200,915	2 焼津 376	2 焼津 423
3	八戸 139,273	3 石巻 130,288	3 三崎 339	3 長崎 314
4	松浦 136,239	4 長崎 124,081	4 長崎 323	4 根室 291
5	釧路 128,052	5 松浦 123,793	5 根室 261	5 三崎 290
6	長崎 122,775	6 八戸 119,474	6 銚子 233	6 銚子 253
7	境港 119,071	7 境港 118,535	7 八戸 216	7 八戸 234
8	根室 116,518	8 釧路 113,990	8 松浦 202	8 気仙沼 225
9	石巻 115,066	9 気仙沼 103,609	9 気仙沼 196	9 函館 188
10	枕崎 109,004	10 枕崎 103,032	10 下関 183	10 下関 185
11	福岡 101,709	11 根室 100,065	11 函館 174	11 松浦 184
12	気仙沼 95,550	12 福岡 99,537	12 沼津 165	12 石巻 179
13	女川 82,136	13 女川 63,413	13 境港 165	13 沼津 154
14	大船渡 55,749	14 大船渡 49,776	14 石巻 152	14 境港 153
15	宮古 40,455	18 宮古 48,897	15 枕崎 133	15 枕崎 120

http://www.sakaiminato.net/site2/page/suisan/contents/news/2011/2011mizuagekakutei/

1970年代以降の激変

- ・1973, オイルショック, 油価高騰
- ・1977, 200カイリ漁業専管水域 ⇒ 北洋漁業縮小, 遠洋漁業の利益率低下
- ・1988, 母船式北洋漁業打ち切り, 北転船の米国沖での操業打ち切り
- ・1993, 公海での北転船操業も打ち切り
- ・サケマス漁場も大幅縮小+高額な入漁料

⇒ 水揚量 長期低迷の時代に

・1980・90年代, 沖合回遊魚の大変動
… 80年代, サバ, イワシが急増し, 90年以降, 急減

・さらに, 韓・台・中国の参入 ⇒ 漁業資源減少 ⇒ 操業効率低下 ⇒ 採算悪化
⇒ 遠洋・沖合漁船漁業は長期縮小へ

2004のサケマス流し網漁区

三陸・北海道の漁船漁業者を潤した北洋サケマス漁業は, 1980年代以降, 国際規制で大幅縮小

※1980の図と同スケールなので比べてみよ

三陸漁業の問題点②

・大衆魚=回遊魚... 年による資源変動大
・長期変動の原因も不明

第1b表 太平洋岸東部の主要漁港における水揚量の変動